

三五八二番

おほぶね 大舟を
あるみ 荒海に出だし
かへ います君
つつむことな
く はや帰りませ

三五八三番

まさき ま幸くて
いも 妹が斎はば
おき なみ 沖つ波
ちへ た 千重に立つとも
さは 障りあらめやも

三五八四番

わか 別れなば
がな うら悲しけむ
あ 我が衣
した 下にを着ま
ただ あ せ 直に逢ふまでに

三五八五番

わぎもこ 我妹子が
した 下にも着よと
おく 贈りたる
ころも ひも 衣の紐を
あれと 我解かめやも